Rotary MATSUMOTO EAST
世界に希望を生み出そう
２０２３－２０２４年度会報
会長／永田利行　幹事／籾山志基
2023. 12. 1. No. 17 通算№1820

12 月 22 日(金)の予定
夜間例会クリスマス家族会
12 月 29 日(金)の予定
休会（クラブ定款）

事務所／松本市深志 1-1-21　中田歯科ビル 5F
TEL:0263-36-7737　FAX:0263-36-6009
例会場/ホテルブエナビスタ　例会日/金曜日 12:30
委員長/望月一将
副委員長/百瀬敏男
委員/土屋 太田 村山 手島

☆★☆★☆★

☆☆☆　本日のプログラム　☆☆☆

司会　　**田村プログラム委員**

【雑誌評論】越場達祐委員

横版 P５指定記事の RI 会長メッセージより。ゴードンRマッキナリー会長は「自然」災害など災害を語る時には言葉を選ぶことが重要である。自然災害と聞くと何か甚大な被害は防ぎようのないものと思いこまされ、支援を必要としている人への行動が手薄になってしまう。災害を自然の一環として考えると自然と人間の行動の複雑な相互関係や、それが地域社会に与える影響を認識できなくなってしまう。災害に対する正しい言葉の使い方を心がけることが大事である。と書かれています。

Ｐ１９駒ケ根RCの「信州駒ケ根ハーフマラソン」で駒ケ根名物の「冷たいドーナツ」をプレゼントしポリオ根絶のための寄付を募る。横組Ｐ４１指定記事２０２４年ロータリー国際大会シンガポールで開催。同じく指定記事ロータリー財団委員長からのメッセージ財団補助金はザンビアでのマラリアの減少、ナイジェリアでの母親と乳幼児の死亡率の低下、エジプトでの子宮頸がんの根絶に取り組んでいる。

縦組 P４では大坂巌氏、緩和ケア医師緩和ケアとは生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のクオリティー・オブ・ライフを痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルの問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチである。末期がんで治療が施せない終末期を迎えた患者が対象であるホスピスケアとの違い、緩和ケアは早期のガン患者など対象患者の「生」と「死」を支える。「日本人が考える望ましい死」１０個より、苦痛がない、望んだ場所で過ごせる、医療者を信頼できる、希望や楽しみがある、皆の負担にならない、家族といい関係でいられる、自分のことが自分でできる、落ち着いた環境にある、人として大事にされる、心残りがない、とのこと。縦組P15歌壇より、佐久コスモスRC中沢道保会員「早朝の千曲川添いを歩みゆく静けさ切り裂く雉子の高鳴き」の句が印象に残りました。

【会員卓話】小林あや会員「フィリピン・セブ島における貧困層の現状について」

8 月の終わりから 9 月の初めにフィリピンのスラム街の子供たちに音楽を教えるプログラムに参加しました。日本の貧困層を救う為には何が必要か、まずフィリピンの貧困層を自分の目で見たいと思ったからです。

私が訪れたセブ島は、同じフィリピンでも観光資源が豊富なため、治安は本土よりは良いと言われていますが、スラムが存在しています。通りに面した家は小売店や飲食店が多く、路地裏に入るにつれ長屋のような狭い住宅がひしめきあっており3～4畳ほどのスペース(住宅)に5～6人が住んでいます。プライバシーはなく、食事はスラム内の飲食屋台で取ることが多い。トイレは共同。水道や風呂はなく、共同の水浴び場など。無戸籍の住民も存在しています。

明確な学歴社会の存在し、初等職業(月収 2 万円ほど)とIT関連業(6 万円ほど)との収入格差。教師は4～5万円。人力車とゴミ換金で生活する住人は 1 日 40 ペソ(100 円)ほどの収入(月額 3,000 円ほど)です。教育に関心のない親から育った子は、学校にいっても目標がなく、収入の高い職にもつけないため、ドラッグや犯罪、異性交遊に早期から興味を持ちやすく、若くして親になりやすい。親同様、教育への関心が薄いため、貧困の連鎖が発生しています。

スラムの子供たちに目標をもって生きて欲しいと、日本人が現地で設立した NPO 法人セブンスピリットによると、目標がある子はドラッグや犯罪に手を染めることはないといい、お金で支援してもお金の使い道がわからず、根本的な解決には繋がるわけではなく教育支援が重要だということがわかりました。フィリピンの貧困と日本の貧困との大きな違いは、貧困のコミュニティの有無。フィリピンは、貧困集落の中に社会の縮図があり、一つの世界が存在していると感じました。

【点鐘 13：30】　　**永田会長**

≪年次総会≫　**2024～2025 年度 理事・役員**

会　長	飯嶌　司
会長エレクト(奉仕プロジェクト委員長)	村山　智計
副会長(会員増強委員長)	舘島　豪
幹　事	小林　あや
副幹事	吉池　裕一
会　計	籾山　志基
ＳＡＡ（次年理事会にて決定）	
クラブ管理運営委員長	髙波雄一郎
クラブ広報・雑誌委員長	北澤　清隆
ロータリー財団委員長	眞峯　　透

※全員の賛成をもって原案通り決定いたしました。